

# 第51回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月19日(金)	試合番号	A5	回戦	2回戦
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Aコート		

Aチーム			Bチーム		
浦添市立浦西中学校(沖縄)			東久留米市立西中学校(東京)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	7	前半	14	33	
	13	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

浦西スローオフから試合開始で、序盤は浦西ペースで試合が展開された。浦西は連続得点で3-0とし、リードを広げる。3分40秒、東久留米が初得点を決めるも、なかなか続けて点数が入らない。一方の浦西も20番による得点はあるもののなかなか攻めることができないでいた。ここで、東久留米は14番のロングシュートや7mスローのキーパーナイスセーブから一気に逆転し、点差を2点としたところで、浦西のタイムアウト。タイムアウト終了後、互いに接触プレーが増え激しい戦いとなる。ここで、浦西20番の2分間の退場の間に点差を6点に広げる。その後、両チームのキーパーの活躍などにより、一進一退の攻防を繰り広げるがじわじわ点差は広がり、7-14で前半を終える。

後半開始1分半、先制は東久留米。しかし、すかさず浦西が取り返す。そこからしばらく一進一退の攻防を広げつつ、じわじわと浦西が点差を縮めていく。しかし、東久留米もキーパーのナイスセーブから、広げられた点差を元に戻す。その後、東久留米の連続攻撃、キーパーのナイスセーブなどで点差が広がる。対する浦西も20番を起点として攻めを展開し、粘り強く攻める。東久留米のタイムアウト後、なかなか点差が動かないまま、20分に差しかかろうとするところで浦西のタイムアウト。その後、浦西は粘り強く攻め続けるが、東久留米のキーパーと速攻によって、なかなか得点することができないまま、点差が広がり20-33で試合終了。

記載者名

小池 涼磨